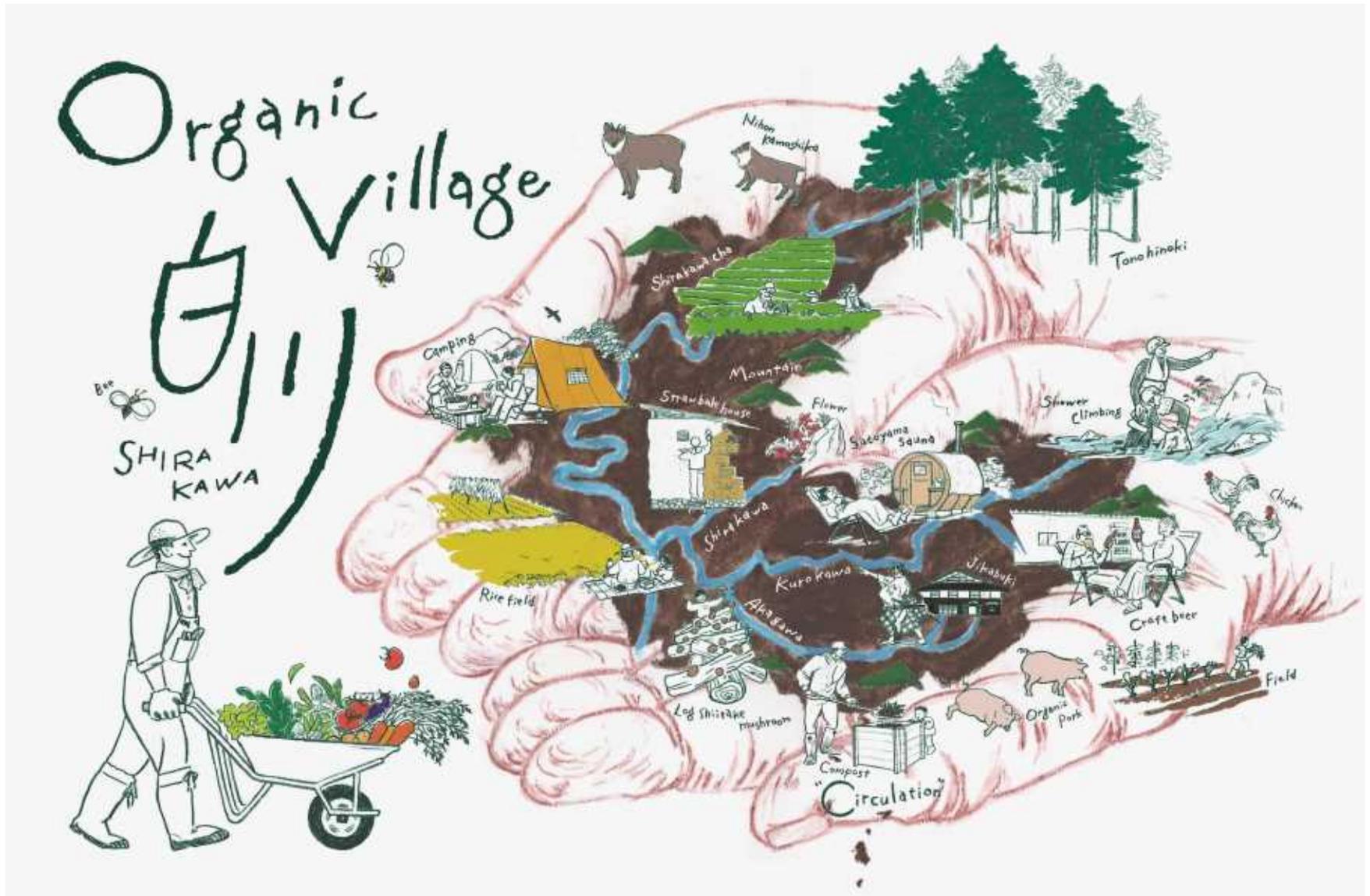


# 流域でつながる里山の有機農業の可能性

～つながりを、つなぐ。ゆうきハートネットの取組み～



# 白川町の概要

人口 6897人 (2025年2月1日)  
高齢化率岐阜県No.1 (48.1%)

総面積	23,789ha
森林	20,787ha (87.4%)
農地	862ha (3.6%)
宅地	271ha (1.1%)
その他	1,869ha (7.9%)



# 白川町の概要



# 白川茶・東濃桧





## 和ごころ農園

伊藤 和徳 (1978年生まれ)

**NPO法人ゆうきハートネット**

副理事 (事務局長)

2児の父

2010年2月新規就農

無肥料自然栽培でお米・露地野菜を育てる  
岐阜県有機農業アドバイザー

2014年

人生を変えちゃう深い農業体験を開始

2021年

里山のサウナ主宰

2023年

里山循環型茶業、「日々茶焙」立ち上げ

サウナ・スパプロフェッショナル

方眼ノートトレーナー

お祭りの余興委員長 (2024年4月)

好きなお茶：三年晩茶

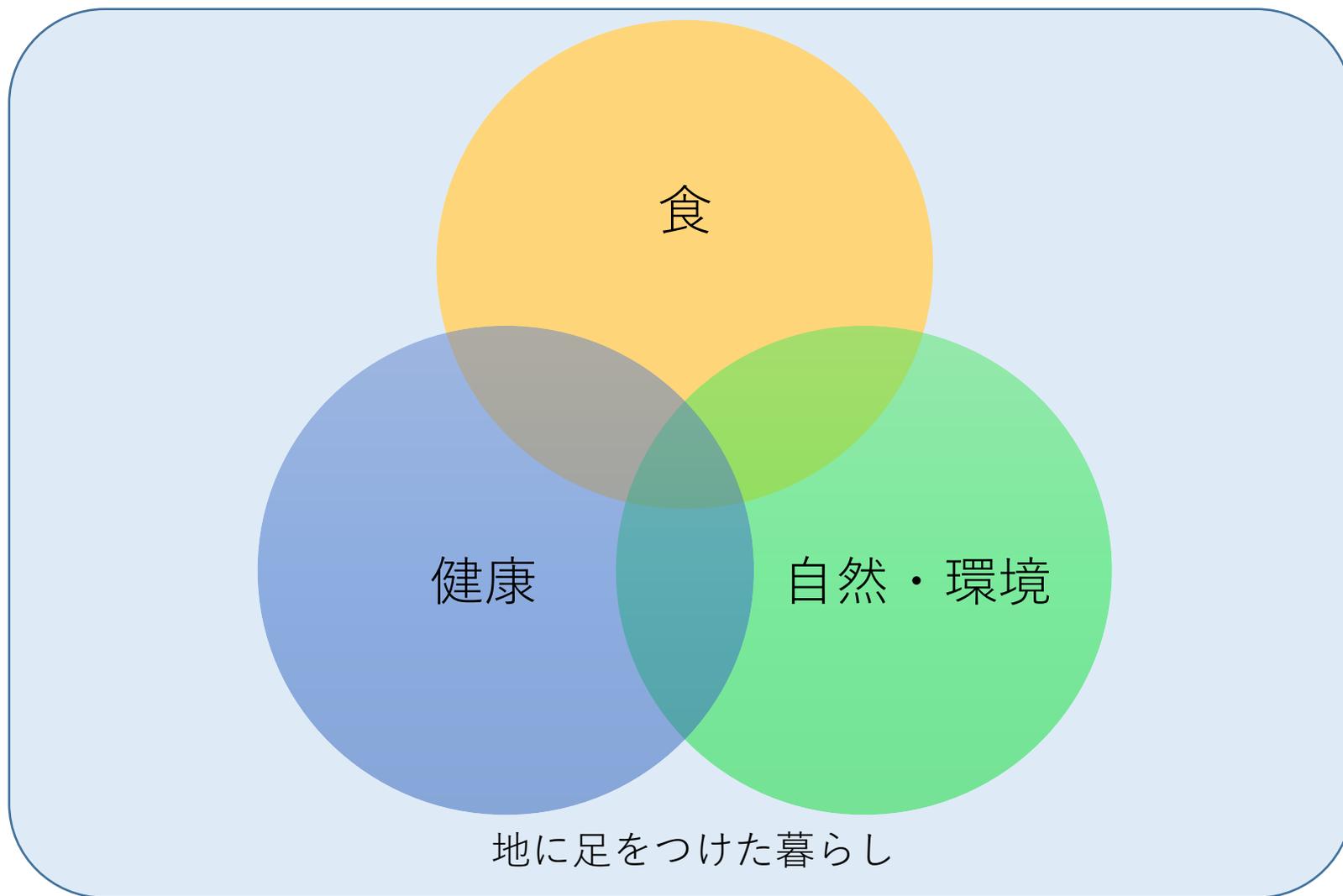


半農半X研究所  
塩見直紀さんが25年前に提唱

2003年に発刊

サラリーマン時代に読んで  
人生を変えた本です

# なぜ有機農業か？



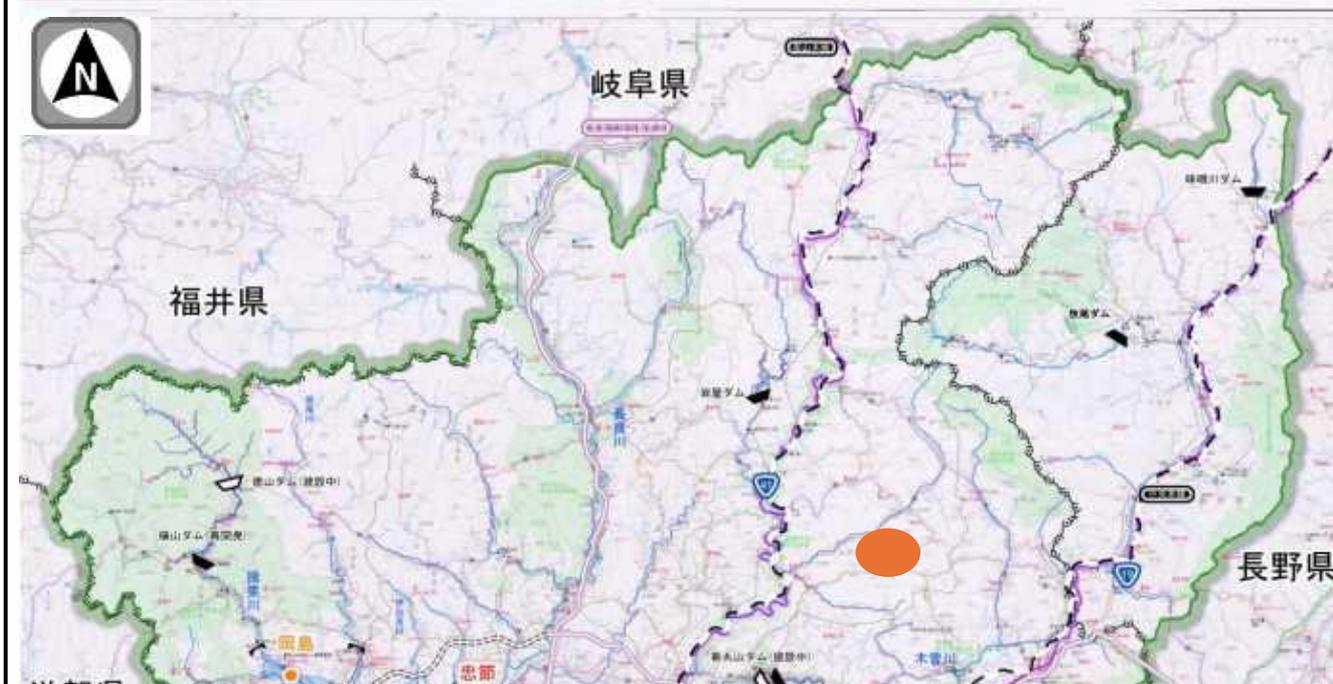
**有機農業で生きていきたい！**

NPO法人ゆうきハートネットの成り立ち

# 流域で自給圏をつくりたい

一級河川木曾川流域図

参考資料3-2



上流の生産者は下流に暮らす人のことを想って、環境を守りながら農産物を育て、下流に暮らす人は上流の農産物を買う支える関係



# NPO法人 ゆうきハートネットの成り立ち

流域自給というつながりを持つこと

+

生き物へのまなざし。生き物がお米を育てている



共感を生んで仲間を呼び組織となり、  
4つの事業が生まれる

# NPO法人 ゆうきハートネットの成り立ち

平成10年 有機農業の生産技術研鑽を目的として設立（任意団体）

平成15年 有機稲作の学習と実践（共同で苗作りその後の情報交換）民間稲作研究所方式

平成21年 有機農業推進法モデルタウン事業申請（ソフト&ハード）

消費者との交流を通じ、有機農業を志す若者を次第に受け入れる

平成23年 NPO法人化  
本格的に就農希望者の就農定住支援を開始

平成30年 豊かな村づくり部門で総理大臣賞受賞

令和5年3月 オーガニックビレッジ宣言  
（令和4年度～6年度 有機農業産地づくり事業）

# ゆうきハートネットのVISION STORY

つながりを、つなぐ。

ゆうきハートネットのはじまりは  
ひとつの小さなテーブルからでした。  
仲間とともに語りあった未来のはなし。

有機農業という言葉がまだ浸透していなかった当時は  
世の中に逆らう端くれ者とよばれていながらも  
想いをともにするメンバーも次々と増え、  
いつしか時代のまんなかに立っていました。

けれど今、私たちの目の前には大きな壁が立ちはだかっています。  
大地は揺れ、風が吹き荒れ、  
水があふれることが増えるようになりました。  
これからの未来、里山と都市の分断が進めば  
里山はなくなり、食べものが足りなくなるかもしれません。

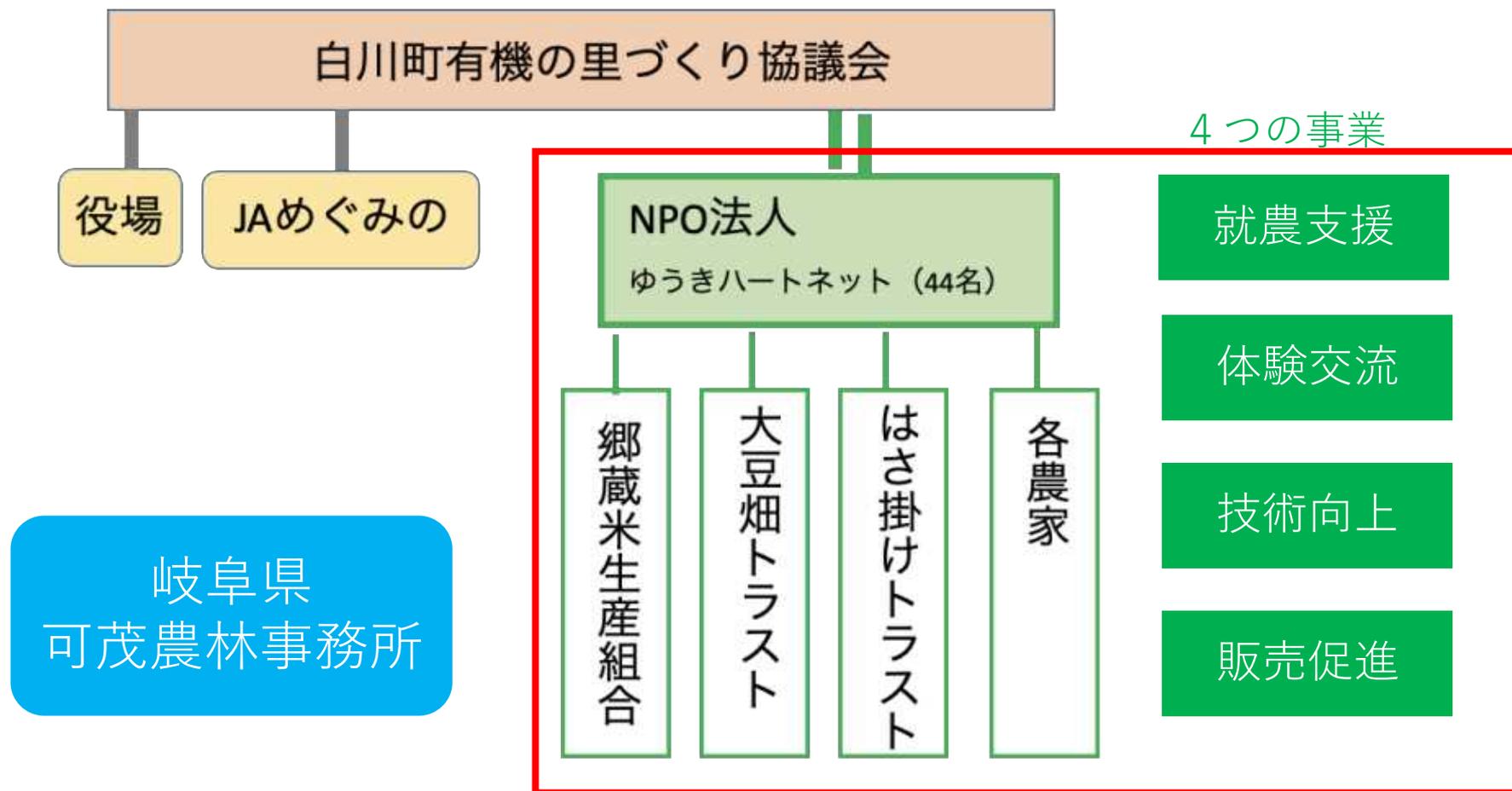
今、私たちにできることはなんだろう。  
日本では川の流域にそって生活が営まれているから  
こそ、  
上流に暮らす私たちと  
下流に暮らすみなさんとで  
お互いの手を取りあい、心を寄せあって  
食、経済、体験や知恵を循環させていくことが  
安心できる暮らしを続けていくことにつながると思  
うのです。

田んぼにいるたくさんの小さな生き物。  
畑でゆらめく色とりどりの草花。  
山から湧きでるおいしい水。

当たり前前に享受している自然の恵みが  
当たり前じゃなくなってしまうように、  
子どもたちの世代へと残していきたい。

私たちが目指すのは、里山とまちが有機的につなが  
り続ける世界。  
今こそ手と手を取りあい、この輪をつなげよう。  
わくわくする未来を、子どもたちへ手渡すために。

# 白川町の有機農業実施体制



取り組みたい人の応援・サポート体制

(2010年～)

# 郷蔵米生産組合（佐見地区）

- 平成元年から活動開始、組合員 8 名
- 名古屋市内の消費者グループとの契約により、有機農業での水稻栽培を行う。
- 若手生産者による田んぼオーナー制度も実施 棚田保全



# 流域自給を守る大豆畑トラスト（黒川地区）

- 生産者10名、会員約300名
- 消費者が大豆畑5坪3,150円で投資。日常管理を生産者に委託し、生産した大豆を消費者に提供する。



～ 食卓と畑のつながり～

## 流域自給をつくる 大豆畑トラスト募集要項

### 2018年度の会員を募集します！

会員の皆様は文思られてお陰様で18年度、農薬と化学肥料を全く使用せずに栽培し、安心して食卓に載せられる大豆を、生産者が直接お届けします。また本託託に投資することにより、お陰様で地域の農地を継承の水準を維持しをえる、さらにそれが子流域・親流域の生産者と繋がってゆくことにもつながります。1流域自給をつくる大豆畑トラストにぜひご参加ください。



※ ご参加いただいた方には、下記のことと生産者からの直接産「直接産物」をお届けします。

【託託会】お問いあわせ先  
流域自給をつくる大豆畑トラスト事務局 藤井秋夫  
〒510-0143 岐阜県加茂郡白川町黒川3030  
TEL 0564-014411 FAX 0564-771368

# はさ掛けトラスト

- 生産者8名、会員20名
- はさ掛け米20kg一口14,000円で会員に販売。会員は田植えや稲刈りなどの作業に協力する。
- わらはストローベイルハウスづくりに活用される。



# ゆうきハートネットの4つの事業

## 技術向上

生産技術、経営面での  
技術向上をめざします。



## 販売促進

有機農産物の販売を促進  
し、生産者を支援します。



## 体験交流

消費者との交流を通じて  
農業への理解を深めます。



## 就農支援

新規就農者の参入と白川  
町への定住を支援します。



# (1) 技術向上のための事業

会員・農家向けの事業

- 水稻の共同育苗
- 著名な農学者（宇根豊・橋本力男・中島紀一）や実践者（稲葉光圀）を招いた講演会・技術研修会の開催
- 先進地視察



宇根豊さん講演会  
「お米が作る  
持続可能な農業と社会」  
Sustainable Agriculture and Society with Rice

お米は世界の最も重要な食料であり、さまざまな気候帯の作物でもあります。今年収穫されたお米は、「お米が作る持続可能な農業と社会」をテーマにした、お米の大切さを伝える講演会を開催いたします。お米の大切さを伝える講演会を開催いたします。お米の大切さを伝える講演会を開催いたします。

日程 | 2017年  
2月9日(木)  
14:00~(開場 13:00)

会場 | 白川町 町民会館  
大研修室

入場 | 無料

宇根豊（うねゆたか）さんプロフィール  
1950年長野県佐久市生まれ。信州農業大学農学部長として、減農薬栽培の推進を指導。市民権を勝ち取り、農政でも活動もなし「お米の味」という理想によって、農学と農業以外の分野を交差し合うことで、お米の魅力を最大限に引き出す。お米の味を伝える「お米の味」を伝える。お米の味を伝える。

白川町民会館 〒299-1101 長野県佐久郡白川町 1-1-1 白川町民会館 1F 大研修室  
TEL 0286-24-1111 FAX 0286-24-1112



## (2) 販売促進のための事業

- ▶ 「郷蔵米生産組合」「大豆畑トラスト」「はさ掛けトラスト」の活動による販売先の確保
- ▶ オーガニックファーマーズ名古屋との連携  
「オーガニックファーマーズ朝市村」等での販売
- ▶ 有機農産物を取り扱うスーパーとの提携（平成30年度から）  
ミニトマト・里いも（共同）・秋冬にんじん（共同）・加工品
- ▶ 学校給食への提供（有機米の日／月2回）



# (3) 体験交流事業

- 「郷蔵米生産組合」「大豆畑トラスト」「はさ掛けトラスト」で行う会員との交流イベント
- 足る知る財団の10回のイベント協力（小学生家族の種まき・田植え・稲刈り・みそづくりなど）
- 地元小中学校での食育体験授業の実施（お米づくり、収穫体験）



「大豆畑トラスト」  
車座一泊夏祭り



「はさ掛けトラスト」  
田んぼの生き物調査

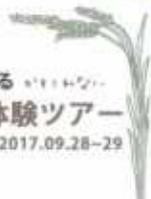
# (3) 体験交流事業

## NO Agriculture,

耕さなくっちゃ生きられないぜ!

## NO LIFE!

人生を変える 有機農体験ツアー  
2017.09.28-29



## TOUR

日程 / 9/28(土) 9:00 丹波市農産物直売所  
～ 9/29(日) 18:30 丹波市農産物直売所

参加人数 / 20名 (小学生以上15名)  
食事会場 / 昼食1回・夕食2回・夕食1回  
宿泊施設 / デイリースーツの泊舎  
申込方法 / 申込書に用紙を添付しお申し込み  
連絡先 / 同封いたします。 電話・FAX受付

料金 8,000円  
(食事・宿泊・送迎・保険代込み)

定員になり次第締め切りとなります。  
申込書にはアンケート記入にご協力ください。  
お申し込みは9月20日までにお願いします。

お申し込み先 株式会社 農協観光  
〒654-0801 兵庫県神戸市中央区南長狭3丁目1-1  
めくみの農業実証 JAめぐみのツアー  
TEL 0574-62-1070  
FAX 0574-62-1071  
受付時間 月～金 9:00～17:00

### 「ゆうきの里」の恵みを味わい 有機農業にふれる会

岐阜県白川町は山景水明に恵まれた美しい里山にあります。白川町有機の里づくり協議会の生産者は、持続可能な手法で、米・野菜・雑穀・豚を大切に育てています。そんなこだわりの食材を生産者の話を聞きながら味わう会を開きます。有機農業の楽しさや大変さ、白川町と有機農業のつながりなど、伝えたいことはいっぱいあります!

今回は、名古屋市丸の内にある『丸の内 居酒屋』さんの大将が、腕を振って料理していただきます。有機農業に興味のある方、ゆうきの里の雰囲気を味わいたいという方、ご参加をお待ちしています。

**日時** 12月10日(土)

10:15 受付  
10:30 協議会と生産者紹介  
参加者自己紹介  
12:00 試食会  
15:30 解散

**参加費** 500円

50名限定  
先着順です!

**会場案内**

丸の内 居酒屋  
名古屋市中央区丸の内  
3-26 西里丸の内ビル1F

地下鉄丸の内線  
1番出口 徒歩5分

**参加予定の生産者たち**

- 赤河産直組合
- COEN 農場
- 中島農園
- 西尾フォレストファーム
- 藤井ファーム
- 和ごころ農園

主催：白川町有機の里づくり協議会  
この会は農林水産省の産地収益力向上事業の一事業として行われます。

**お申し込み** 参加希望の方はFAXまたはメールでお申し込みください。  
FAXでお申し込みされる方は、下記必要事項を記入の上、ご連絡ください。

お名前 \_\_\_\_\_ 人数 \_\_\_\_\_ 名 TEL \_\_\_\_\_  
FAX/0574-77-1638 Mail/nisimasa@poem.ocn.ne.jp

- オーガニックファーマース名古屋と連携した有機農業体験ツアーの開催
- 名古屋の飲食店と連携し、提供した食材を使った料理を楽しみながら生産者と交流する「有機農業にふれる会」開催





# (4) 新規就農者の就農・移住支援事業

## ② 就農研修体制

あすなる農業塾（岐阜県独自の制度）

JA・行政と協業

就農希望者が農業経営に必要な技術・知識及び経営管理等について円滑に学ぶことができるよう、県に登録された指導者（あすなる農業塾長）の下で研修を受けられる制度

- ゆうきハートネット会員で有機農業の塾長7名が登録
- これまでに11名の有機農業塾生を受け入れ
- 岐阜県有機農業アドバイザー4名



# (4) 新規就農者の就農・移住支援事業

## ② 就農研修体制



平成23年完成「くわ山結びの家」  
(佐見地区)

これまでに20人の研修生を受入れ



平成30年完成「黒川Maruke」  
(黒川地区)

# 会員の経営形態

➤少量多品目生産⇒野菜セット販売・朝市など

マルシェ・CSA（消費者と顔の見える関係重視）

➤中品目で量産⇒スーパー・トラスト納入

ex.ミニトマト、えだまめ・しいたけ・里芋（共同生産などで効率重視）

➤半農半X型⇒農林複合・起業

（原木椎茸・狩猟・きこり・堆肥生産・クラフトビールなど）

# 半農半X型

～農と得意なこと・好きなことを組み合わせる～

◆農園×アクティビティ×クラフトビール

暮らすファームSunpo（黒川）

◆農園×堆肥づくり（苗づくり）×堆肥の学校（コンサル）

五段農園（黒川）

◆農園×学校給食×いちご×林業

千空農園（佐見）

# 半農半X型

～農と得意なこと・好きなことを組み合わせる～

◆農園×本格洋菓子×料理

hokimoto（佐見）

◆農園×棚田保全×林業

田と山（佐見）

◆農園×深い農体験×お茶畑の再生×サウナ

和ごころ農園（黒川）

# 三年番茶プロジェクト

---

耕作放棄された茶畑

間伐が進まない

健康志向の高まり



薪火焙煎の  
三年番茶









小さな農業

×

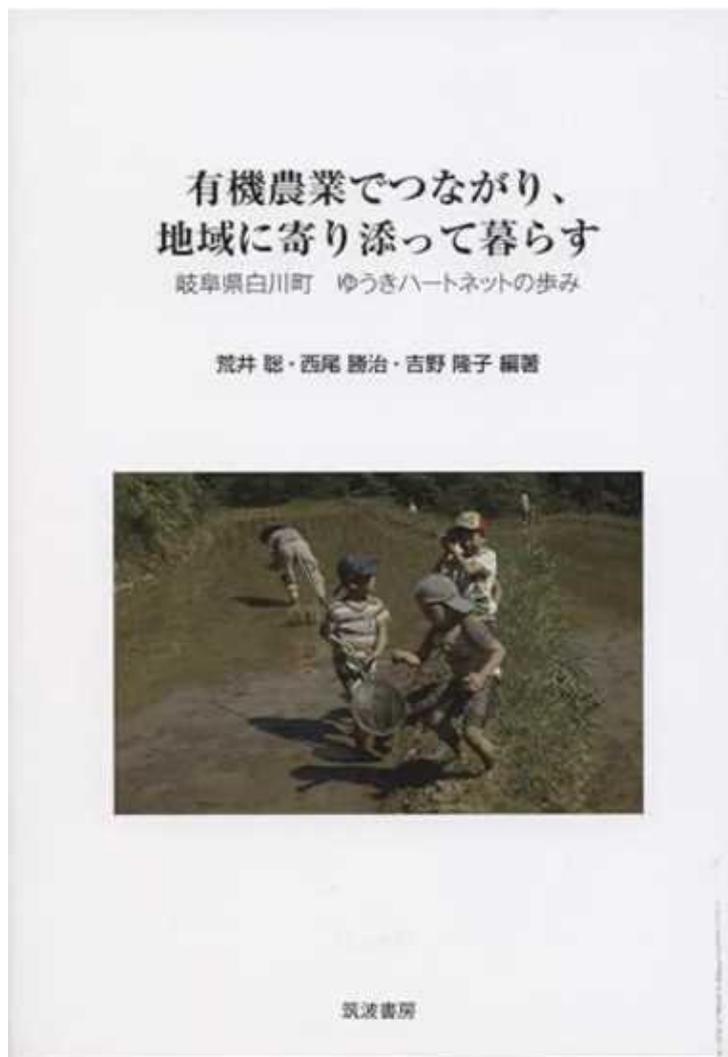
社会的仕事  
創造的仕事

# 地域貢献

- 消防団活動—30代で移住、全員入団
- 農地継承—高齢リタイアの農地を受け継ぐ、棚田保全
- 伝統文化・行事継承（獅子舞・地歌舞伎・祭り囃子）
- 女性の活動（地域役員・起業・料理教室）



# 刊行書籍



40代の有機農家の実践レポート

- ・ 和ごころ農園
- ・ 暮らすファームSunpo
- ・ 五段農園
- ・ 田と山

# 白川町のみどり戦略

白川町有機の里づくり協議会

# 目指す姿

個々の農業から地域連携の有機農業へ

# オーガニックビレッジ宣言

## 白川町オーガニックビレッジ宣言

1998年、白川町内の有機農業者で組織する「ゆうきハートネット」が中心となり、小さなテーブルから町内有機農業の取り組みがスタートしました。

世界共通の目標である「SDGs」への世界的な取り組み、国が目標として掲げる「みどりの食料システム戦略」の実現に向けて、持続可能な食料生産システムの構築と、地域環境にやさしい農業が求められています。

本町への移住の選択肢として、有機農家の暮らしを目指して、まちに移住される方が増えています。移住される方と、白川町のつながりを築いてきたのが「ゆうきハートネット」であり、関係人口を増やす取り組みを続けています。

木曾川流域での暮らしが安全で、安心に、そして持続的に繋がっていくことを、上流の里山で暮らす私たちが心掛けていくことで、人・食料・経済の好循環が生まれると信じています。町内5河川の流域で暮らす白川町民にとって、流域での考え方は、とても大事にしています。

田んぼにいるたくさんの小さな生き物  
畑でゆめく色とりどりの草花  
山から湧き出るおいしい水

当たり前前に傍受している自然の恵みが、当たり前じゃなくなってしまうように、子どもたちの世代へと残していきたい。里山とまちが有機的につながり続ける世界。わくわくする未来を子どもたちにつなぐ。

白川町では、有機農業の推進について、「ゆうきハートネット」を中心としながら、みんなの想いが活きる・つながる・広がるまちを目指して、ここに「オーガニックビレッジ」を宣言します。

令和5年3月29日  
白川町長 佐伯正貴



## 有機農業に 地域ぐるみで 取り組む町

「豊かな暮らしへ」部門で内閣総理大臣賞を受賞しました。こうして白川町は全国から「有機農業の町」として注目され、ゆうきハートネットには視察の問い合わせが多く寄せられるようになりました。

白川町では、今後もゆうきハートネットと岐阜県、そしてめぐみの農業協同組合らと構成する有機の里づくり協議会が中心となり、白川町内の有機農業を推進していくための取り組みを進めていきます。

令和5年3月29日、白川町は有機農業に地域ぐるみで取り組む町として「オーガニックビレッジ」を宣言しました。

白川町の有機農業は、平成10年に10人ほどの農家が集まり、米や大豆を中心とした有機農業の勉強会として始まりました。ゆうきハートネットと名づけられたこの団体は、有機農業推進法のモデル事業で佐見に結びの家を設置したことを機に、平成23年にNPO法人化されました。その後、黒川マルケが設置されると、就農研修の受け入れや消費者との交流がスムーズにできるようになり、現在では1ターンの就農希望者を受け入れられる体制が確立されています。

ゆうきハートネットは有機農家が中心となって販路促進、技術向上、就農支援、体験交流の4つの事業に取り組んでいます。その中で移住促進や学校給食、地域資源の循環、そして子どもたちの農体験など、多くの面で白川町のまちづくりにも貢献しています。このことが認められ、平成31年度の農林水産祭では

オー  
ガ  
ニ  
ッ  
ク  
ビ  
レ  
ッ  
ジ  
宣  
言

(ゆうきハートネットにとっての)  
オーガニックビレッジ宣言の意味

農家が中心となって有機農業を推進

(ボランティアでは厳しい)

(行政がやってほしい仕事だなあ)

行政の立場から、有機農業の推進もして  
いくという意思表示をしてもらえた  
こと

< 課題 >

まち全体に浸透するほどの熱量はなし・・・  
行政が当事者となってやってもらえない

白川町の有機農業を点から線へ、  
そして面として盛り上げていくために

## ①地域農業としての有機農業の可能性調査

様々な関係者とつながりをもつ

## ②循環システムの構築

未利用資源と流通網でつなぐ

## ③新しいVISIONのPR・普及活動

エリアの発信

# 取組内容

## ①地域農業としての有機農業の可能性調査

持続可能な地域にするために、農業ができることを改めて様々な組織と対話する。

有機農業の収益強化を図り、地域に還元する

- ・ 営農組織との有機農業のあり方調査
- ・ 食育推進事業
- ・ 収量向上のための事業
- ・ 加工品開発事業
- ・ 技術勉強会・講演会の開催

# 3 取組内容

## ②循環システムの構築

資源循環と白川町内の不利な物流を改善することで小さな農業を活性化させるための事業

- ・ 未利用資源の循環に関する事業
- ・ 流通システムの構築のための事業

## 3 取組内容

### ③新しいVISIONのPR・普及活動

新しいVISIONを共有することで、会員同士の連携を強め、白川町内外へエリアの魅力を発信する事業

- ・ビジョンストーリーとロゴづくり
- ・小農フェスの開催
- ・ホームページのリニューアル
- ・京都オーガニックEXPO出展

# 取組内容の報告

## ③新しいVISIONのPR・普及活動

エリアの発信



里山の風景、営み

川の上流～下流のつながり

リングで循環をイメージ



き  
う  
ゆ  
ト  
ツ  
ハ  
ネ  
ト  
ト



ゆうき  
ハート  
ネット





# 小農フェス

シヨウノウ

small-farmers

#農家 #新しい里山 #ローカルフード

つながりをつなぐ

9日10:00~15:00  
fiume Marche

入場無料

ムスピノカナデ (惣菓子)  
白菓 (パン)  
ピザ屋のソルジェンテ  
スパイスライフダーナ (カレー)  
BAN'sキッチン (ペペーカステウ)  
大黒屋 (和洋菓子)  
直ちゃんの五平餅 (五平餅)  
農工会青年部黒川支部 (鶏ちゃん)  
里山守研究所 (ワークショップ)  
ゆうきハートネット (野菜・加工品) など

会場：東座

9日13:30~15:00  
基調講演

入場無料

「雨風太陽」代表  
高橋博之氏

都市と地方を  
かき混ぜる

会場：東座

2023  
9.9<sub>土</sub>-10.10<sub>日</sub>  
10:00開会



会場：黒川東座  
(岐阜県加茂郡白川町黒川1594-2)

9日16:00~  
交流会

電子予約

クラフトビールのビルワリーを  
会場に、この日だけの特別な  
「里山バル」をオープン。  
食べて、飲んで、語り合おう！  
会場：暮らしファームsunpo

10日10:00~14:00  
視察ツアー

電子予約

yamaJ+ 千空農園  
田と山  
清水しいたけ屋  
hokimoto

satoJ+ 暮らしファームsunpo  
和ごころ農園  
五段農園  
タクスムデザイン  
会場：各地域

10日10:00~15:00  
白川ローカルスタンプ

入場無料

移住・就農・就労ブース  
ワークショップブース  
飲食ブース  
ゆうきハートネットパネル展示  
会場：東座



川の上流に位置する白川町で、里山を守って行くことはここに暮らす我々だけでできることではありません。流域に住む人たちに知ってもらい、支えてもらう。里山と町をつなげる場として、私たちの活動をお披露目する場として「小農フェス」を企画しました。

白川町は令和5年3月に「オーガニックビレッジ宣言」をしました。

fiume Marche



出店者の詳細はInstagram  
グラムでご確認ください。



岐阜県白川町で  
「触覚」「聴覚」「視覚」  
「嗅覚」「味覚」  
五感をあしめるマルシェ  
「環境に優しく、  
心を大切に」  
白川町×50Gsを  
発信します

9日13:30~15:00 基調講演



高橋博之氏「雨風太陽」代表

1974年岩手県花巻市生まれ。岩手県議を2期務めた後、「世なおしは、食なおし」「都市と地方をかき混ぜる」をモットーに全国各地を巡り、地方の生産者と日本中の消費者をつなぐ「食べる通信」発行、2016年には全国の農家・漁師・猟師と会話しながら食材を育てるスマホアプリ「ポケットマルシェ」をリリース。都市と地方をかき混ぜる事業を通して関係人口を創出している。

おどろきのコースをお選びください。  
ランチ・お土産付き 7000円⇒ 視察ツアー

yamaJ+

山づくりと林業の説明  
住居見学、木の小物作り  
原本しいたけほぼほ見学  
山の中でランチ:hokimoto  
(地元野菜のカレーと白川茶、おやつ)

電子予約

satoJ+

サウナロウリュ体験  
クラフトビール試飲  
地温湿度当てクイズ  
ストローペイルハウス見学  
黒川小学校食育園場見学  
黒川 Maruke でランチ:まるっとカフェ  
(米粉麺パスタと白川茶、おやつ)

白川ローカルスタンプ



もう少し白川町を知りたい方、  
ちょっと時間がある方、  
熱い白川町民がいます。  
お気軽にお立ち寄りください。

- 移住・就農・就労ブース
- ワークショップブース
- 飲食ブース
- ゆうきハートネットパネル展示

交流会 里山バル

5000円

電子予約



ゆうきハートネットメンバー  
の野菜をよんだんに使った体験  
的里山バル。世界中を旅し  
料理した農夫hokimoto  
運命のバルは、ゆうきハート  
ネットメンバーとの交流の場  
にもなっています。  
食べて、飲んで、語り合おう！  
里山のミライを！

最新情報はInstagram  
でご確認ください⇒



⇒9日交流会・10日視察ツアー  
申し込みフォーム

宿泊はこちらをご参照ください⇒  
白川町グリーンツーリズム協議会HP



主催：白川町有機の里づくり協議会 (NPO法人ゆうきハートネット・JAめぐみの・白川町・岐阜県)

協力：東座保存会・白川町移住交流サポートセンター・白川町観光協会・ワークドット協同組合

商工会青年部黒川支部・ヤゴシラカワ・里山守研究所

(問合せ) NPO法人ゆうきハートネットホームページ問合せフォームより⇒

お問い合わせください。 <https://www.yuki-heartnet.org>



有機農業産地づくり推進契機付事業額を活用しています。



白田町有機の里づくり協議会  
小農フェス～つながりをつなぐ～ 講演会

雨前未陽  
五之橋博之





# Organic Village

SHIRAKAWA



K-73  
SHIRAKAWA  
ORGANIC VILLAGE





ローラシロップ

ローラシロップ  
ローラシロップ  
ローラシロップ



# ホームページリニューアル



<https://shirakawa-yuuki.net>

- ・オーガニックビレッジ宣言の紹介
- ・ゆうきハートネットの紹介も統合
- ・視察、研修のフォームを新設

## ①地域農業としての有機農業の可能性調査

様々な関係者とつながりをもつ

- ・ 営農組合
- ・ 学校
- ・ 食、農に関心のある人
- ・ 技術を高めたい農家

# 営農組織との有機農業のあり方調査（2022）



法人営農組織と懇談会  
（白川町黒川地区）

第1回 7月28日

第2回 12月14日

第3回 3月1日

課題

営農：担い手不足

ゆうき：フレキシブルな農地  
の貸借（農地不足のため）

営農組織の方と一緒に有機栽培をする圃場の設置へ  
前向きな動きとして今後とも情報共有を続ける



2023.6.28  
みのる産業さんのご協力で  
除草機実演会





営農組織とゆうきハートネットのメンバーで水稻勉強会  
(8/31 白川町黒川地区)  
(公財) 自然農法国際研究センター

営農組織とゆうきハートネットが円卓に座って、建設的な対話ができる素地ができた

土地を荒らしたくない想いの強い地元の方と寄り添える取組みの模索がスタート

営農組合が管理している田んぼの一部を有機栽培へ転換の可能性が出てきた

ゆっくり、いそげ

# WE ARE WHAT WE EAT

上映会



2月5日 水

13:00~16:00

参加費・申込不要

場所：白川町町民会館大研修室

01

上映会

食べることは  
生きること

02

基調講演

エディブルスクールヤード  
ジャパン代表堀口博子氏  
【エディブルスクール  
ヤードジャパンの取組】

03

トーク  
セッション  
&  
販売会

## 食べることは生きること

～アリス・ウォータースのおいしい革命～

白川町有機の里づくり協議会

サイト：[www.reallygreatsite.com](http://www.reallygreatsite.com)

会場：岐阜県加茂郡白川町河岐 1645-1

2025.2.5

大雪予報が出る中、  
名古屋からの来場者もあり  
50名の会に

- ・食は人をつなげる
- ・食がすべてを教えてくれる

## ②循環システムの構築

未利用資源と流通網でつなぐ

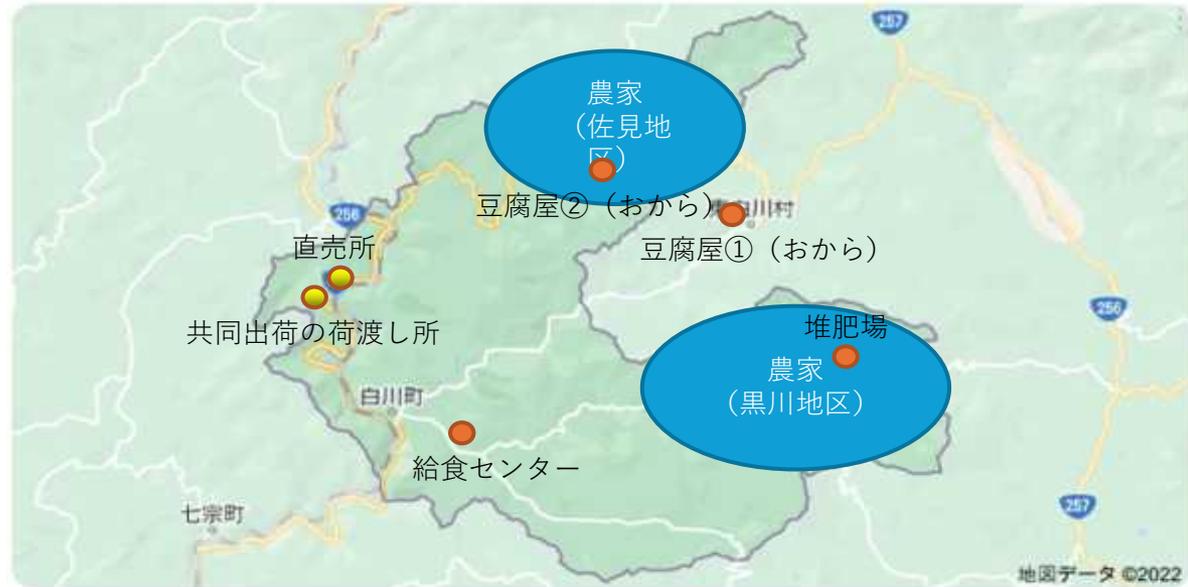
# 町内流通システム構築

## 1. 事業設定の背景

2025年問題ふくむ物流コストの値上がり傾向に対して、  
自前で安価な物流システムを持ってないか検討する

## 2. 検証内容

- ・ 専門家の選定
- ・ 生産者ヒアリング
- ・ ルート作成と概算コスト算出
- ・ 実証試験



流通業者をお願いするには利用者が少なく、事業化が厳しい  
(冬場の物流が無くなるなど)

**公共交通・道の駅との連携を模索**

# 新たな連携～まちの変化～

有機農業・つながりのハブ

白川町有機の里づくり協議会  
ゆうきハートネット

移住施策・グリーンツー他

移住交流  
サポートセンター

仕事斡旋・キャリア教育

白川ワークドット  
協同組合

みんなの思いが活きる・つながる・広がる  
まちを目指す（オーガニックビレッジ構想）





ご清聴ありがとうございました